

ご挨拶

理事長 田中 幸二

皆様に長らくご愛読いただきありがとうございました本誌は、本号にて「犯罪と非行」誌名での刊行を終了することとし、2016年度から新たな誌名、内容の機関誌を発刊させて頂くことになりました。本誌は1969年（昭和44年）の創刊以来、多くの執筆者、愛読者に恵まれ、また法務省の皆様のご多大なご支援を受け発刊して参りましたが、近年の社会情勢の大きな変化や新しい時代のニーズに対応するために、内容を一新することにいたしました。突然のご報告となりましたが、皆さまのご理解を頂きますようお願い申し上げます。

本誌は、初代竹内亀次郎財団理事長の特別な思い入れもあり、創刊当時から青少年の非行予防と矯正・更生保護に関する犯罪・非行問題を主たるテーマに発刊してまいりました。当初、財団法人青少年福祉センターが発行し、その後矯正福祉会との共同発行となり、2000年には両財団が合併して日立みらい財団の発行となりました。さらに、2015年に日立の5つの財団が合併し、公益財団法人日立財団として再出発したことは、すでに前号にてご案内のとおりです。また新しい試みとして、2014年に「犯罪と非行」誌創刊45周年記念シンポジウム「地域における子どもの安全」を開催、昨年も「ネット社会と少年非行」のテーマでシンポジウムを開催し、その内容を掲載いたしました。近年の犯罪や非行の傾向と対策を新たな視点で取り上げて、多くの皆様から高い評価をいただきました。

私どもは、2015年度に日立財団としてスタートして以来、活動内容の刷新を進めております。近年指摘されるように、IT技術の高度な発展や少子高齢化の進行、経済格差の拡大などがもたらすわが国の社会情勢をかんがみますと、安全で安心な社会の構築に向けて取り組むべき課題は山積しております。そこで、これらの問題に強い関心を寄せる幅広い読者層に多角的な視点で発信、提言を行い、

意識啓発に資する社会貢献事業として、新しい誌名と内容で機関誌を創刊することにいたしました。多くの読者の皆様のご期待にお応えできる内容にすべく編集にまい進する予定ですので、今後とも変わらずご支援頂けますようお願い申し上げます。

新機関誌では、多様な社会問題・時事問題をテーマに特集を組むほか、これと連動してシンポジウムも適宜開催してその内容を掲載するとともに、対談、座談会なども織りまぜながら、魅力的な誌面づくりを目指してまいります。ご期待いただければ幸いです。

新機関誌の創刊号の詳細につきましては、改めて書面にてご連絡させていただきます。あわせて日立財団のホームページでも発表させていただきますので、そちらもご覧頂ければ幸いです。

これまでのご愛読に心より感謝申し上げますと共に、今後ともご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます御挨拶とします。